

次世代に つなげる森林づくり

平成 27 年 4 月 17 日

◆平成二十七年、森林技術・支援センターが取り組む主な課題等について

◆本課題

- 一、保育作業の省力化による森林育成技術の確立(刈払回数別) 〓 嶺北署管内
 - 二、下刈り省略によるシカ食害低減効果の検証 〓 嶺北署管内
 - 三、エリートツリー植栽による下刈省力化試験及びシカ食害クリップ防止効果の検証 〓 高知中部、安芸署管内
 - 四、竹等を利用したシカ害対策について(二十七年新規課題) 〓 安芸署管内
 - 五、小型囲いわなによるシカ誘因・捕獲の向上と普及の推進
- 〓 現地状況に対応した設置手法と普及の五課題となっております。

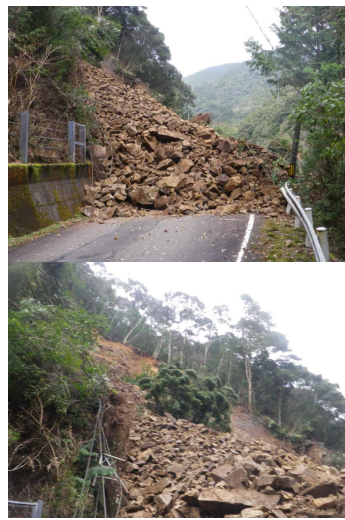


◆自主課題

- ① モウソウチク林整備の一考察について
- ② コンテナ苗の成長比較試験
- ③ スギ・ヒノキ挿木苗による疎植施業の成長調査試験
- ④ 植栽本数別試験
- ⑤ 疎植施業による成長促進効果の検証試験
- ⑥ 植栽方法別の低コスト造林試験

◆「シカ囲いわな」の巡視捕獲出来ず！
・折合国有林手前の県道が大規模崩壊！

◆三月三十日午後、四万十町(旧窪川町)南川口から入った県道小味野々川口線(県道三二八号)の折合地区において大規模崩壊(高さ十メートル約五十メートル)が発生しました。この地区の上流域は国有林で、当センターが「シカ囲いわな」を数基設置しており、昨年度も捕獲成果を上げておりましたが、崩壊地の土砂取り除きが行われ、復旧に向けた作業が通行止めとなり、歩道が作設されてます。



◆四月、五月の当センターの主な行事・行動予定は？

○主に月曜と金曜日は「シカ囲いわな」の巡視捕獲へ。
○火曜と木曜日は、各試験地調査へ。
○高知中部、安芸署管内等にあり

◆二十七年「森林技術・支援センター」のスタッフを紹介します。

☆所長・山崎 忠男
四月一日付で新任です。

☆副所長・池上 永一
二年目に入りました。

☆企画官(技術開発・普及) 柳園 幸徳
古参？五年目に入りました。

☆※企画係長・原崎万実子
現在、育児休業中です。子供は一歳を過ぎました。

☆業務係長・芹口 竜一
二年目で必捕獲！「囲いわなの芹口」と言われる様な...

☆森林技術員・森 孝幸
当センターの技術開発課題調査等のスペシャリストです。

☆行政専門員(再任用) 隅田 雄二
瘦せなく二年目に突入。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

☆行政専門員(再任用) 和田 繁雄
初めての再任用で古巣に帰りました。

情報の提供を

◆当森林技術・支援センターは、技術開発課題等に関するご意見や情報を募集しております。何なりと、情報等の提供をお願い致します。